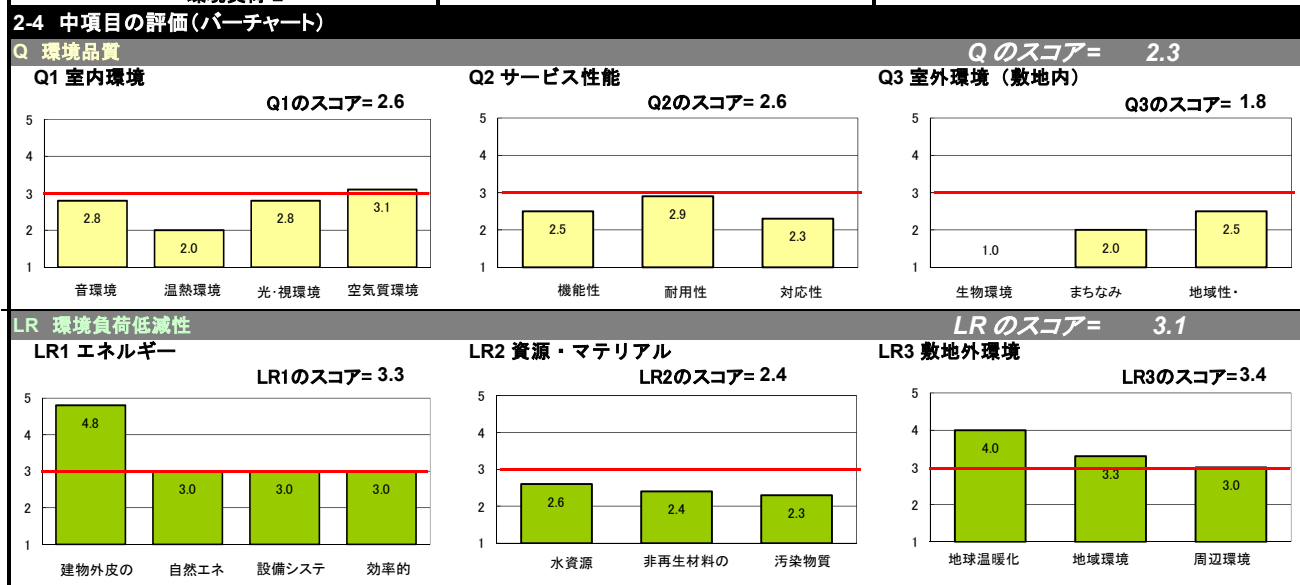
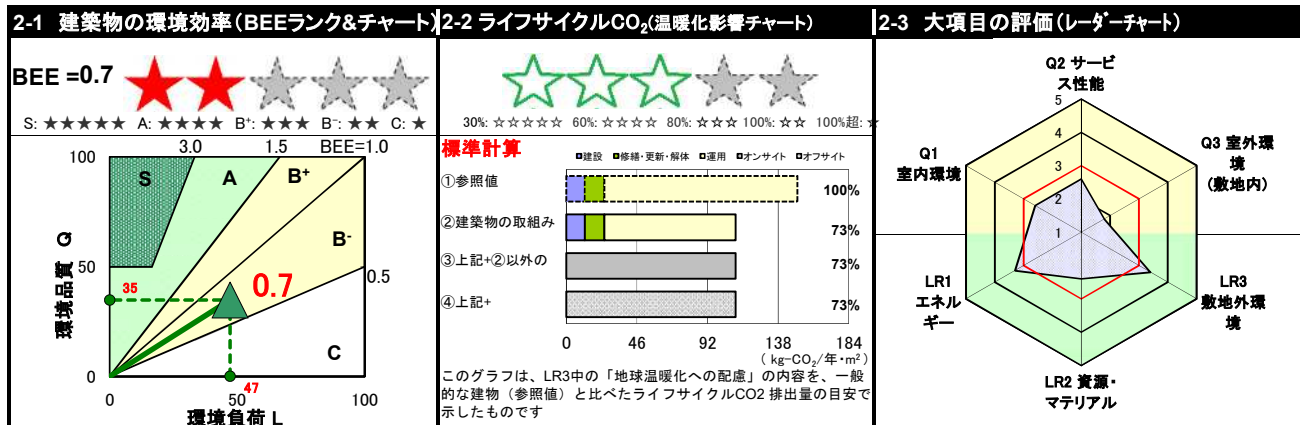
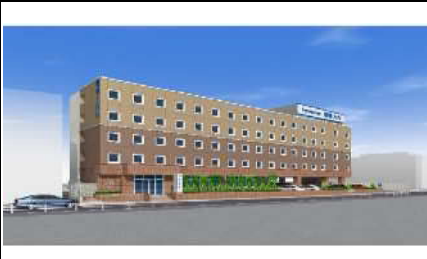


1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)東横INN大船駅前ビル新築工事	階数	地上5F
建設地	鎌倉市台1丁目335番29外1筆	構造	S造
用途地域	近隣商業地域、準防火地域	平均居住人員	105 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	ホテル、工場、	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2026年9月 予定	評価の実施日	2025年1月15日
敷地面積	1,123 m ²	作成者	㈱東横イン電建一級建築士事務所
建築面積	563 m ²	確認日	2025年1月17日
延床面積	2,488 m ²	確認者	㈱東横イン電建一級建築士事務所



3 設計上の配慮事項		
総合 JR大船駅から徒歩1分の、近隣商業地域の用途地域に、ホテルをS造・地上5Fにて計画した。		その他 特になし。
Q1 室内環境 内装仕上げにF☆☆☆☆の建築材料を使用し、シックハウス対策等、宿泊者の快適性に配慮した。	Q2 サービス性能 空調・給排水配管は、耐用年数の長い材質を採用した。	Q3 室外環境(敷地内) 特になし。
LR1 エネルギー BPI _m =0.82	LR2 資源・マテリアル 洗浄水に井水を利用している。	LR3 敷地外環境 燃焼機器を使用しておらず、外部空間に対して大気汚染物質を全く発生していない。

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性評価システム)

■ Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)

■ 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと

■ 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される